

京都府で高病原性鳥インフルエンザ疑い事例

- ◆亀岡市の採卵鶏農場(30万羽規模)で疑い事例
- ◆12月に入って鳥取、兵庫、岡山に続いて本件で今シーズン国内9例目の発生となる可能性があります。

高病原性インフルエンザの疑似患畜と確定された場合、以下の対応となります

- ①当該農場の鶏の殺処分及び焼却等の実施
- ②半径3km区域内の鶏等の移動と半径3～10km区域内の鶏等の搬出を制限
- ③発生農場の周辺地域に消毒ポイントを設置し、畜産関係車両の消毒
- ④周辺農場の異常の有無の確認及び府内の全養鶏場に対する注意喚起



- ◆本件に関する今後の情報について、十分な把握をお願いします。
- ◆異常を認めたら即、通報願います(夜間、閉庁時間転送対応)。